

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第66期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 クリエイト株式会社

【英訳名】 CREATE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福井 珠 樹

【本店の所在の場所】 大阪市西区阿波座一丁目13番15号

【電話番号】 06-6538-2333

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉 成 隆 則

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区阿波座一丁目13番15号

【電話番号】 06-6538-2333

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉 成 隆 則

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第1四半期 連結累計期間		第66期 第1四半期 連結累計期間		第65期	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高	(千円)		5,848,242		6,168,603		25,545,891
経常利益又は経常損失()	(千円)		24,050		27,916		311,270
当期純利益又は 四半期純損失()	(千円)		40,985		5,105		152,166
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		43,384		6,293		192,417
純資産額	(千円)		3,200,462		3,407,505		3,424,580
総資産額	(千円)		13,389,614		13,423,707		12,929,073
1株当たり当期純利益金額又は 四半期純損失金額()	(円)		10.52		1.31		39.07
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		23.9		25.4		26.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
また、第65期第1四半期連結累計期間及び第66期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策への期待感から円安、株高基調となり、企業収益が改善に向かう動きをみせるなど、景気回復の兆しがみられましたが、一方で、原材料価格の上昇や新興国における経済成長の鈍化など、一部に不透明感の残る状況で推移いたしました。

管工機材業界におきましては、新設住宅着工戸数は前年を上回る水準で推移しており、首都圏をはじめとした都市部を中心に堅調な需要を持続しております。

このような状況の下、全国の販売ネットワークを活用し、営業所に併設したヤードからのタイムリーな商品供給を行いました。また、堅調に推移している需要の取り込みに努めました。

以上の結果、連結売上高は6,168百万円（前年同期比5.5%増加）となり、売上総利益は1,081百万円（前年同期比2.1%増加）となりました。

販売費及び一般管理費は4百万円の増加となり、営業損失は5百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。また、経常利益は27百万円（前年同期は24百万円の損失）となりました。以上の結果、法人税等考慮後の四半期純損失は5百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

[管工機材]

当セグメントにおきましては、売上高は6,168百万円（前年同期比6.1%増加）、セグメント利益(営業利益)は22百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

[その他]

当セグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントで主に室内装飾の施工であり、売上高は0百万円（前年同期比98.7%減少）、セグメント損失(営業損失)は27百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。

管工機材の商品区分別状況は以下のとおりです。

排水・汚水関連商品

当商品群は、ビルやマンションの排水・汚水配管に使用される商品が中心となります。建築需要は、都市部を中心として堅調に推移しております。ビルやマンションの需要増加に伴って排水鋳鉄管、耐火二層管が増加した他、排水金具、MD継手も売上を伸ばし、当商品群の売上高は1,356百万円（前年同期比7.8%増加）となりました。

給湯・給水関連商品

当商品群は、戸建住宅や集合住宅の給湯・給水配管に使用されるものが中心となります。給水関連商材は、インフラ整備の部材として需要は安定しております。ポリブデン、ライニング管、ステンレス類が増加したことによって、当商品群の売上高は1,488百万円（前年同期比3.4%増加）となりました。

化成商品

当商品群は、戸建住宅や集合住宅の外溝部材が中心となります。業界内での競争激化が懸念される中、ビニル類、マス類ともに着実に実績を伸ばしております。好調な新設住宅着工戸数にも支えられ売上は順調に増加しており、当商品群の売上高は1,806百万円（前年同期比8.4%増加）となりました。

その他

当商品群は、継続して取り組んでいる住宅設備機器を含む商品群です。需要の回復に伴って、多数の商品区分で前年実績を上回っております。住宅設備機器の仕入先・アイテムの拡充に加えて、鉛管、フレキ類も順調に増加していることもあり、当商品群の売上高は1,516百万円（前年同期比4.7%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて505百万円増加し、流動資産合計で9,579百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が129百万円増加、商品及び製品が407百万円増加したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて10百万円減少し、固定資産合計で3,844百万円となりました。この主な要因は、固定資産の減価償却による減少等によるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて669百万円増加し、流動負債合計で7,913百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が700百万円増加したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて157百万円減少し、固定負債合計で2,102百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が152百万円減少したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、純資産合計で3,407百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が28百万円減少、為替換算調整勘定が8百万円増加したこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,969,000	3,969,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であり ます。
計	3,969,000	3,969,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		3,969,000		646,494		786,078

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 74,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,894,300	38,943	
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	3,969,000		
総株主の議決権		38,943	

- (注) 1 「単元未満株式」の欄の株式数には当社所有の自己株式 32株が含まれております。
2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) クリエイト株式会社	大阪市西区阿波座一丁目 13-15	74,300		74,300	1.87
計		74,300		74,300	1.87

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,218,527	1,165,770
受取手形及び売掛金	2 5,314,938	2 5,444,541
商品及び製品	2,129,336	2,536,837
仕掛品	116,264	125,101
原材料及び貯蔵品	107,354	124,472
繰延税金資産	132,047	130,134
その他	124,579	120,129
貸倒引当金	68,934	67,310
流動資産合計	9,074,112	9,579,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	255,913	250,747
機械装置及び運搬具（純額）	13,405	12,498
土地	1,792,678	1,792,678
リース資産（純額）	51,860	48,670
その他（純額）	35,052	35,960
有形固定資産合計	2,148,910	2,140,554
無形固定資産		
リース資産	66,240	68,665
その他	36,946	34,478
無形固定資産合計	103,186	103,144
投資その他の資産		
繰延税金資産	260,155	261,051
その他	1,491,597	1,487,610
貸倒引当金	148,888	148,331
投資その他の資産合計	1,602,863	1,600,330
固定資産合計	3,854,961	3,844,029
資産合計	12,929,073	13,423,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 5,617,448	2 5,757,624
短期借入金	-	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,012,683	938,187
リース債務	29,272	31,110
未払法人税等	127,978	36,832
賞与引当金	142,441	214,917
役員賞与引当金	4,810	-
その他	309,606	234,918
流動負債合計	7,244,241	7,913,590
固定負債		
長期借入金	1,230,528	1,077,623
リース債務	88,684	86,422
退職給付引当金	598,864	611,869
役員退職慰労引当金	13,764	14,197
役員退職慰労未払金	175,000	175,000
その他	153,409	137,498
固定負債合計	2,260,251	2,102,611
負債合計	9,504,493	10,016,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,494	646,494
資本剰余金	803,217	803,217
利益剰余金	1,943,835	1,915,361
自己株式	41,843	41,843
株主資本合計	3,351,702	3,323,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,755	65,565
為替換算調整勘定	10,122	18,710
その他の包括利益累計額合計	72,877	84,276
純資産合計	3,424,580	3,407,505
負債純資産合計	12,929,073	13,423,707

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,848,242	6,168,603
売上原価	4,789,507	5,087,598
売上総利益	1,058,734	1,081,004
販売費及び一般管理費	1,081,135	1,086,104
営業損失()	22,401	5,099
営業外収益		
受取利息	234	157
受取配当金	895	6,004
不動産賃貸料	17,055	16,712
仕入割引	32,854	37,418
貸倒引当金戻入額	300	300
デリバティブ評価益	-	11,974
その他	7,673	9,189
営業外収益合計	59,013	81,758
営業外費用		
支払利息	7,038	5,985
手形売却損	8,176	9,474
不動産賃貸原価	11,342	11,260
売上割引	12,215	14,476
デリバティブ評価損	3,739	-
その他	18,150	7,544
営業外費用合計	60,663	48,742
経常利益又は経常損失()	24,050	27,916
特別利益		
固定資産売却益	249	-
特別利益合計	249	-
特別損失		
固定資産除却損	127	-
投資有価証券評価損	3,009	-
特別損失合計	3,137	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	26,938	27,916
法人税等	14,046	33,021
少数株主損益調整前四半期純損失()	40,985	5,105
四半期純損失()	40,985	5,105

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	40,985	5,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,031	2,810
為替換算調整勘定	5,631	8,588
その他の包括利益合計	2,399	11,398
四半期包括利益	43,384	6,293

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	1,782,912千円	1,272,457千円
受取手形裏書譲渡高	182,196千円	193,215千円
手形債権流動化に伴う買戻義務	462,488千円	427,237千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	103,809千円	38,397千円
支払手形	823,365千円	638,760千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	21,589千円	22,910千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	19,473	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	23,368	6.00	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	調整額	合計 (注)2
	管工機材	計			
売上高					
外部顧客への売上高	5,813,676	5,813,676	34,566		5,848,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高			1,475	1,475	
計	5,813,676	5,813,676	36,042	1,475	5,848,242
セグメント損失()	16,884	16,884	5,516		22,401

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、室内装飾の施工を含んでおります。
2. セグメント損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	調整額	合計 (注)2
	管工機材	計			
売上高					
外部顧客への売上高	6,168,169	6,168,169	434		6,168,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高			2,256	2,256	
計	6,168,169	6,168,169	2,690	2,256	6,168,603
セグメント利益又は損失()	22,390	22,390	27,489		5,099

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、室内装飾の施工を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()	10円52銭	1円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額() (千円)	40,985	5,105
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純損失金額() (千円)	40,985	5,105
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,894,668	3,894,668

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

クリエイト株式会社
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柏 木 忠 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 沖 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエイト株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエイト株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。